



# 日本から遠いアフリカ・スーダンで 日本語を学ぶ人々

いしいかずなり  
石井一成さん(スーダン・ハルツーム在住、川崎市出身)

▲本人写真:ムハンマド生誕祭にて  
(服装は伝統衣装のジャラビーヤ)

JICA 青年海外協力隊員 任期:2017年10月から2年間



▲ナイル川の日の出



▲ナイル川で釣りを楽しむ人々



▲「JAPAN DAY SUDAN」での  
スーダン人による合気道の演武



▲熱心に勉強している  
日本語教室の様子

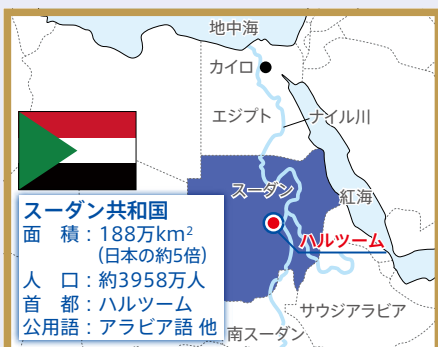


▲ハルツーム大学で一番古い建物 (1902年創建)

スーダンという国を知っていますか？  
ニュースで南スーダンのことを聞いたことがある方は多いかと思いますが、「スーダン」と「南スーダン」は別の国です。スーダンは、ピラミッドで有名なエジプトの南隣にあります。日本人にほとんど馴染みがないこの国で、私は日本語を教えています。なんと100人以上のスーダン人が日本語を学んでいます。

## ナイル川の合流点

エジプト文明はナイル川の恵みを受けて発展しました。そのナイル川はもともと白ナイルと青ナイルという大きな川が合流してできています。この二つの川が合流するところがスーダンの首都ハルツームです。この川のおかげで、サハラ砂漠の東端に位置する厳しい土地でも人々は生活することができました。ナイ



ルはスーダン人にとって大切な川です。ハルツームではナイル川クルーズや釣りを楽しめます。

## スーダン唯一の日本語教室

私は首都にあるハルツーム大学アフリカ・アジア研究所で、一般人向けに日本語を教えています。ここには6年ほど前から青年海外協力隊の日本語教師が派遣されています。日本から遠く離れた、日本人にもあまり知られていない国で、日本語を勉強している人がいるというのは、意外に思われるかもしれません。しかし、町には日本の中古車がたくさん走り、日本製品の性能の良さはよく知られています。また、若者はインターネットで日本のアニメやマンガに親しんでおり、日本文化に対して高い関心を持っています。

日本人は少なく、日本へ行く機会も少なく、日系企業もほとんどないという環境ですが、教室ではスーダン人たちが日本語と日本文化を熱心に学んでいます。また年に一度、ハルツーム大学アフリカ・アジア研究所、日本大使館、JICAの三者が主催する、「JAPAN DAY SUDAN」という日本文化紹介イベントでは、スーダン人がアニメのコスプレをしたり、アニメソングを歌ったり、柔道、書道、折り紙などを披露したりして、大勢の来場

者が詰めかけます。

## スーダンの人々

スーダンは厳格なイスラム教の国で、町のあちこちでお祈りする姿が見られます。古くからキャラバン貿易や遊牧で栄えたこの国には、様々な民族がいて、中東とアフリカの間地点として多様な文化を持っています。もしこの国に興味を持っていただけたなら、ぜひ「YouTube」の「スーダン日本語チャンネル」で、日本語学習者が作ったスーダン文化紹介動画をご覧ください。そして、スーダンのことを少しでも知ってもらえたら嬉しいです。

(写真・文:石井一成さん提供)

## 【お知らせ】



次期JICA  
ボランティア

応募期間 10/1 ~ 11/1

年2回、春と秋にJICAボランティアを募集しています。事業概要や応募方法など、詳しくはJICAのホームページをご覧ください。

<https://www.jica.go.jp/volunteer/index.html>

2018年度より、ホームページを中心にボランティア関連情報を発信します。なお、JICA横浜では随時、応募相談を受け付けておりますので、お気軽にお問い合わせください。

TEL: 045-663-3220